

10年後20年後につなぐ！

——自分達の地域をみんなで守る——

(新潟県柏崎市農業委員会 水野美保)

1 柏崎市農業委員会の概要

農業委員：19名（うち女性委員2名）

農地利用最適化推進委員：27名

2 取り組みのきっかけ

令和元年、柏崎市農業委員会では、市内に農地を持つ方を対象に「営農意向調査」を行いました。頂いた回答を見ると、地権者と耕作者の考え方に随分とズレがあると感じました。

3 具体的な取り組みの内容

それからは、地区総代会に出席させていただき、「人・農地プラン」についてお話をするとともに、元年に行った「営農意向調査」で感じた疑問やズレ、具体的には、農地の出し手と受け手の思いの違いや親世代と若手世代の考え方の違いのほか、地域の担い手の中にも将来に対する考え方等が千差万別であることをお伝えしました。再度、地区独自でアンケート調査を行い、10年後の農家数や後継者の様子が見えてきました。

地区の総代様のお話から、農地を集積・集約したことで、地域住民の生活と農業をする場が切り離されてしまい、環境を保全するための共同活動がしづらい状況もおきていました。

結果として、急ぎ集約することで農家戸数を減らすことは得策でないと考え、まずはそれぞれの集落ごとに考えていることを地区全体で共有し、何か問題が発生した場合には法人・組合・個人といった区別なく助け合いができないかとの考えに至りました。

まずは、地区全体の耕作者同士が話し合える場をつくり、続いて10年後20年後の農地、環境保全に取り組みたいと思います。願いは、「自分達の住む地域をみんなで守る」という強い思いをつなげていきたい！ です。

農地利用の最適化に向けて頑張っています！



中澤直寛推進委員・水野美保農業委員・中村耕一郎推進委員